

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2007-179013(P2007-179013A)
 【公開日】平成19年7月12日(2007.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報2007-026
 【出願番号】特願2006-309226(P2006-309226)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 15/01 1 1 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月10日(2009.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内層および最外層を有する画像形成装置用エンドレスベルトにおいて、該最外層の表面の830～870nmの波長領域での平均正反射率が5.0%以上であり、該最外層の表面の830～870nmの波長領域での正反射率のバラツキが該平均正反射率の±10%以内であり、該最外層の屈折率が該内層の屈折率よりも高く、かつ、該最外層が赤外線吸収剤を含んでいることを特徴とする画像形成装置用エンドレスベルト。

【請求項2】

前記最外層が紫外線硬化型アクリル樹脂とアンチモン酸亜鉛のイソプロピルアルコールゾル又はチタニア系複合酸化物のメチルエチルケトンゾルと赤外線吸収剤としてのフタロシアニン化合物とを含む組成物を硬化させたものであり、

前記内層がカーボンブラックとポリフッ化ビニリデンとを含んでいる請求項1に記載の画像形成装置用エンドレスベルト。

【請求項3】

請求項1または2に記載の画像形成装置用エンドレスベルトと、

該画像形成装置用エンドレスベルトの前記最外層の表面に対して、830～870nmの波長領域の光を発する発光素子と受光素子とを有し、該発光素子と該受光素子とが該最外層の表面を反射面とする正反射光学系で構成されている色ズレ検出手段とを有することを特徴とする画像形成装置。